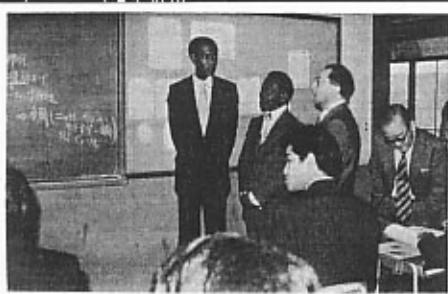


昭和55年7月20日



A black and white photograph showing a group of men in professional attire. In the center, a man in a dark suit and tie stands looking towards the right. To his left, another man in a dark suit stands facing forward. In the foreground, a man's head is visible from behind, looking towards the right. On the far right, a man in a striped tie and glasses is seated at a desk, looking down at some papers. The background features a chalkboard with some writing on it.

一行は応接室にて、校長・事務長及び、教務係長と挨拶を交わされ、早速本題に入った。

校長自ら翻訳した、英文のパンフレットにより、学校の状況等、細部にわたり詳しい説明があった。オデュロ博士は、非常に開心された様子で、矢張り間に質問されたようである。

応接室での説明後、一年生の授業風景を視察され、統いて実習場へと移動

ガーナ大使来校さる

★本校職員の声から

たとえ一人の女子入学生とは言へ、正面言つて私自身、女の子に対しても教育した経験もなかつたから、最初は戸惑いあるいはやり難い点もある。

立ってほしいが、女性に対する意識を持つ今までとは違った感じを受ける。やはり相手が学生とは言え「女の子」ではある。

女性に対する意識を持つ

僕自身、航空整備士になりたいが、
言う気持ちで本校に入学しましたが、
他人事とは言え、同じ職業を目指した
彼女について少し関心を覚えました。
一果して僕自身、航空整備士になれる

又、目下航空会社へ就職するためにも、自分の力で頑張らねばと言う意欲がわいてきます。（彼女に負けてたまるものか？）

先に記したが、郷里を離れ、活しているわけだが、現在は学生として、愛知県名古屋市井伊谷にある中日新聞西春寺苑所にて、通う他の学生達といっしょに住学校と同居の家庭を手伝いながら働いている。
又、塾側としても、女子学生を入れるに当り初めてのテーマをついたので、多少は何事につけていいもあつたが何とか無難に事が進むのが現状であり。今後、生徒の第二第三の女子学生が、本校すれば、喜ばしいことである。

学生の顔色を見ながら、時おり睡息苦にして、「スケベ階」もしたこともあつたが、やはり教室の中にも、女の子が入ればこんな事も、慎まなければならぬと思う。

しかしながら、大勢の男の中に交じって一人の女の子が存在することは、良い意味で今までの風男かくわ一枚鬼皮した別の駒男が巻き上げられるのではないかと期待している。

又、我々職員も「女性」として入学した本人が、我校に入学して後に悔悟が強くならぬためにも、男女を問わず授業科目における心配がある生徒指導室においても気を配る必要があると思う。

★同期生の声から

僕自身、航空整備士になりたいダメと言ふ気持ちで本校に入学しましたが、他人事とは言え、同じ職業を目指した彼女について少し関心を覚えました。

又、目下航空会社へ就職するためにも、自分の力で頑張らねばと言う意欲がわいてきます。（彼女に負けてたまるものか？）

★ 同期の声から

我校は、男女共学とは言え、女子学生が入学するとは思つてもいいまぜな事になつたが、入学式の日、王直道つて書いたりする。あるから、こちらも教官とは言え一人の「男」であるから意識するのは当然と言えば当然だ。

例えは、教導室に立つ黒服も特に変わつたわけではないが、やはり「変な服」黒服をしては」と多少なりとも意識する。それと「男」と「女」では、一つの物事に対するところえ方が違うから、説明する時の言葉の言回しにも気を使ってゐる。

「どうだうか？ ましてや女である彼女はどうだうか？」そして、もし僕自身が、彼女の立場のように男女校に男一人で入学する勇気があるだろうかと考えさせられた。

しかしこの点について、彼女は、実際に本校に入学しているのであるから彼女は強さに、心がうたれます。更に、同じ教室で、男に変じて教業を受けている姿勢を見ると、何事にも真剣に取り組んでいるし、良く頑張るなあ♪と思ふ気持ちです。

そして、僕自身、航空整備士を目指して、何とか自分でやってみよう。

昭和54年度 決算報告書

備 用	取 入	支 出	各 目 期 相	
			金 額	附 記
			719,973	53年度より継越し 1~7月
			762,800	振込み 5000×140=7200 現 金 5000×14
			405,000	預 手数料 50×140+200=7200
			785,000	9月 2500×162
				10月 5000×157
会 費	2,672,773			
雜 取 入	125,000		53,000	開会式会費 1000×53 〃 観能
受 取 利 息	9,930		4,228	中央相互銀行 8/20 〃 2/18
事 務 用 品 費		3,636	3,636	印鑑ケース、ゴム印、領收書 金銭出納帳
通 信 費			26,300	入会案内 50×526
		184,400	29,500	開会式案内 200×115 50×130
			128,600	名簿・会報 200×643
印 刷 費			32,938	入会案内及び宛名書
		646,018	15,600	開会式案内状(300枚)
			350,000	名牌(1000部)
			220,000	会 報(〃)
			23,700	振込用紙(500枚)
			380	会報取材費(フィルム)
			400	振込手数料
会 議 費		537,837	442,209	総会及び開会式
			63,400	開会式記念品(900×70)
			32,230	〃 景品
運 賀 費			10,280	総会・開会式準備
		66,597	4,400	〃 取材記者接待、御礼
			18,070	賀員会
			33,847	総員会
定 期 預 金		1,000,000		総会・支部援助費等
維 越 金		369,213		55年度～維持
計	2,907,793	2,807,793		

昭和55年度 収支予算書

繰用	取入	支出	各項目明細	
			金額	備記
会費	2,119,213		1,369,213 750,000	54年度より繰越 第11期生 500×150
利息費	70,000			
印刷費		515,500	200,000 150,000 150,000 15,500	名簿(第10期生配布)170部 会報No 1 300×500 " No 2 " " 往復ハガキ印刷(9期生調査) 100×155
通信費		96,200	45,000 45,000 6,200	会報No 1 発送 100×450 " No 2 " " 往復ハガキ 40×155
事務用品費		3,000		
運営費		50,000	30,000 20,000	授業会 2 回 その他
表彰・協賛費		20,000		1冊につき一律 2,000円
積立て		250,000	100,000 100,000 50,000	基金 300,000÷3=100,000 同窓会・支部援助費 調査費(5年一度全卒業生の追跡調査)
子傭費		50,000		
繰越し		1,204,513		次年度へ繰越し
計	2,189,213	2,189,213		

航友会だより

昭和55年7月20日



昭和四十五年にわざか三十四名の入学者を迎えて、江南市で中日本航空専門技術学校が創立して以来、本年三月九期生（百五十五名）を送り出し、四月には本校創立以来初の紅一点女性入学者をまして、はなやかなヘリコプターによる祝賀飛行のうちに、十一期生（百六十四名）を迎えて入学式を挙行し、今回はれて学校開校十周年を迎えることが出来ました。

十年は人生における一つの節目と言います。これは学校や企業の場合も同じで、私自身本校に奉職して六年目になりますが、その頃の本校と現在を比較してみると、建物の外観はともかく入学競争倍率、教育内容、教員教材、国家資格、就職状況、航空整備業界に於ける本校の地位など、どれ一つをとつても、天と地の格段の差がつきました。

この本校の発展は、校長の船木英夫先生（百六十四名）を迎えて入学式を挙行し、今年はれて学校開校十周年を迎えることが出来ました。

校創立時代のことは航友会の皆様の方

がよくご存知ですし、余り過去を語ら

ない、との評議をいただきま

す。

私は本校へ参りました昭和四十九年

一十五年頃は、あちこちの企業、職者

の間で「本校はいまにもつぶれるので

はないか」といわれ、監督官庁から

充実ぶりを語っていますが、今本校は

めよと、さんざんおこられる日の連続

でした。

その後、本校は昭和五十一年、文部省専修学校法に基く、「年制度の専門

学校として認可され、特別優秀校とし

て、全国専修学校連合会長賞や奨励

金賞など受賞し、続いて五十二年、人

事院通知により短大と同等資格が与

えられました。更には待望の運輸大臣

指定の航空整備者整備養成施設となり、

五十三年以降連続して毎年一回で百%

の国家試験合格率が実現されました。

成績の他の二校が余り成績がふるわ

ないだけに、運輸省や関連業界の絶賛

を受けております。

航友会々員の皆様も本校の好評を聞

かれた方は数多いと思います。又、こ

の間文部大臣や、外國大使等の学校視

察もありました。

現在第一期工事として、計画実施され

ている。管理棟（四階建・三六八二坪）

基本実習棟（二三八〇坪）、機体発動機

実習棟（二四七五坪）、その他学生休

憩室・宿泊室・美術室・食堂・車庫など、

学校移転計画として、五十六年度は

各主要教材として、本年FA-120

固定翼、回転翼機あわせて十一機、エ

ンジン二十二基、各種トレーナー、計

測試機器材など全員に対して、得体

機はFA-1200、ベル47を主に

固定翼、回転翼機あわせて十一機、エ

ンジン二十二基、各種トレーナー、計

測試機器材など全員に対して、得体

機はF-1200、ベル47を主に

固定翼、回転翼機あわせて十一機、エ

ンジン二十二基、各種トレーナー、計